



三菱重工パワーインダストリー株式会社

不適合対策費の管理、電子帳簿保存法に必要なデータ連携を実現

SAP、kintone、Box、楽楽精算など複数システム・サービス連携によりデータ管理を標準化

三菱重工パワーインダストリー株式会社は、三菱重工グループの一員として、産業用火力設備やバイオマス発電設備、地熱発電設備などの計画から開発・設計、調達、建設・試運転、保守に至る一サービスを一貫して提供している。同社は、三菱重工グループ各社との間での事業の分割継承、譲渡を繰り返しながら事業を強化してきた。事業の統廃合に伴ってシステムが乱立し、データが散在している状況となるなか、その管理を整理、集約する取り組みを現在継続的に進めている。その一環として、プラントエンジニアリングのプロジェクトで発生するコストのうち、不適合にかかる対策費用の明確化と、電子帳簿保存法に対応した受注情報の電子保存による管理一元化の実現に着手。ETLツールに「ASTERIA Warp」を導入して、SAPや楽楽精算、kintone、Boxなどの各種システムを連携し、多大な人的負荷を軽減しながらデータ管理の標準化を実現している。

導入背景

- 不適合案件単位のコスト集計に手間がかかっていたため、プロジェクトで発生するコストのうち不適合にかかる対策費用の管理を、プロジェクト単位から不適合案件単位に見直す必要があった
- 電子帳簿保存法に対応するため、人手により受注伝票をBoxへ保存していたが、作業負荷が大きく、保存先フォルダの命名も担当部署ごとにバラバラだった

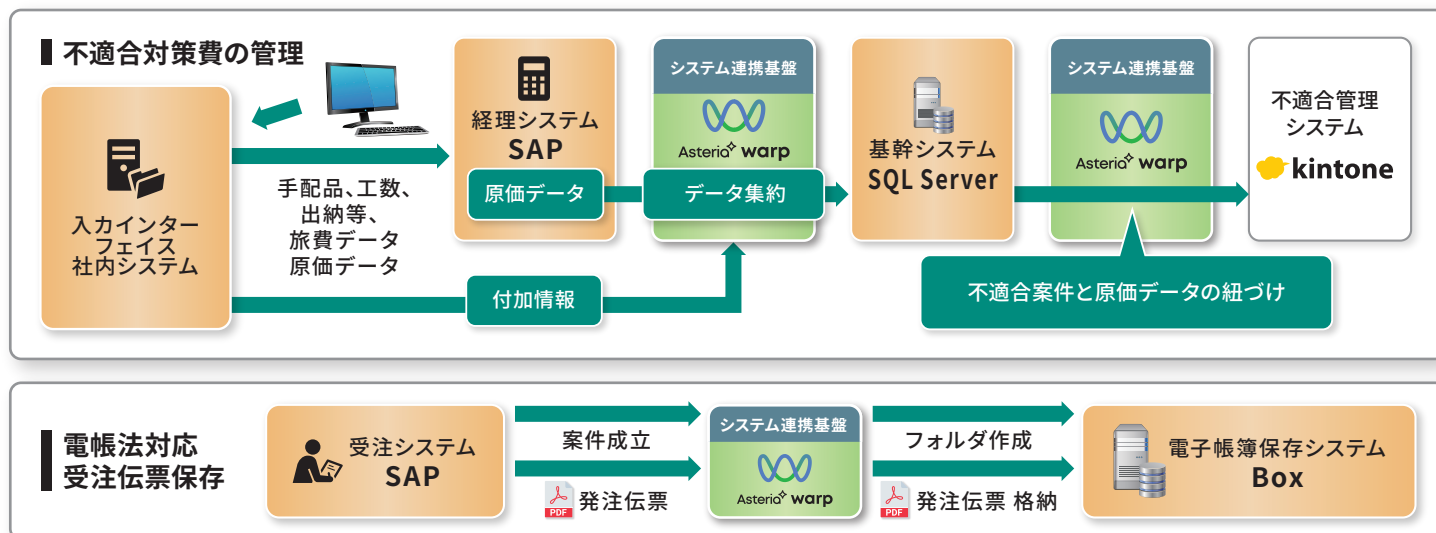
選定ポイント

- 情報の一元管理、集中管理のニーズに早期かつ、低コストで応えるには、スクラッチ開発ではなく、ETLツールを活用したデータ連携が最適
- グラフィカルな開発画面で、アイコンを配置し、プロパティを設定することにより、開発スキルを問わず連携処理の構築が可能
- kintoneやBox、楽楽精算をはじめ、各種SaaSとの接続を容易に行えるアダプターを豊富に装備。スモールスタートが可能で、システム接続にかかわる構築コストが大幅に削減できる

効果

- 不適合管理システム（不適合案件を管理するシステム、kintone）とコストデータ（SQL Server）の紐づけを自動化。1,827時間/年の工数削減と、kintone上での原価の一元管理を実現
- Boxに案件ごとの保存用フォルダを作成し、SAPの受注管理システムで生成された受注伝票のPDFを該当フォルダに格納する作業を自動化。625時間/年の作業工数を削減
- 仕損にかかわるデータ管理の標準化を実現し、業務プロセスの改善につながった

システム概要



ユーザーのひと言

今回、ETLツールに「ASTERIA Warp」を採用して、プロジェクトの仕損にかかわる原価情報の一元管理、電帳法に対応した受注情報の電子保存の自動化をあわせて実現しました。これにより不適合対策費の管理においては、不適合管理システム(kintone)から不適合案件単位で容易に不適合対策費を管理できるようになりました。また電帳法対応の局面では、受注伝票のBoxへの格納処理を自動化するなど、手入力の作業を大幅に削減できました。今後は各種アダプターを活用して、kintoneなどさまざまなSaaSと連携し、システムの適用範囲を拡大していきたいと考えています。

三菱重工パワーインダストリー株式会社 企画経理部情報システムグループ 横浜ITチーム
 櫻井 道子 様
 田中 悠也 様
 篠木 昂太郎 様

User Profile

三菱重工パワーインダストリー

所在地：神奈川県横浜市中区錦町12

会社概要：産業用火力設備などプラントの基本計画、詳細設計から製作・調達、建設、試運転、アフターサービスまでをワンストップで提供

業種：プラント・エンジニアリング

URL：https://ids.power.mhi.com